



出発前、役場に集まった保護司のみなさん

明るい地域社会をめざして

社会を明るくする運動出発式

第60回「社会を明るくする運動」の啓発パレード出発式が、7月12日役場玄関前で関係者60人を集めて行われました(町保護司会主催)。

町保護司会の西田一郎会長が「犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生に力を合わせて取り組み、明るい社会実現のために活動を推進していきたい」と決意を述べ、住永町長が「みなさんの日ごろの地道な活動に対して、心から感謝とお礼を申し上げます。私たち町の職員も、より一層認識を深め、自分たち一人ひとりの問題として真剣に取り組めます」と激励しました。

パレードは、車両3台を連ねて町内一円を巡回しました。

正しい運転技術まかせて

子ども自転車県大会で益城中央小が4位

今年6月、甲佐町で開かれた御船地区交通安全子ども自転車大会で優勝した、益城中央小6年の井芹奎士郎君、坂本未那さん、津山紗里奈さん、田代光さんが7月17日、県運転免許センターで開かれた熊本県大会に出場し、見事4位に入りました。

大会には県内の小学校から22チームが出場。午前中、学科テストに臨んだ子どもたちは、午後からは実技テストにチャレンジし、交通ルールを守りながら走行する「安全走行テスト」や、S字走行、ジグザグ走行などを行う「技能走行テスト」で、放課後などに練習した成果を発揮しました。



「安全走行テスト」に臨む津山さん

結婚対策協議会だより



産業後継者のカップルに結婚祝い金

緒方副町長から結婚祝い金を受け取る川端康蒼さん(右)



益城町結婚対策協議会が再発足して、初めて、新しいご夫婦に緒方副町長(益城町結婚対策協議会会長)から結婚祝い金が贈られました。

新婚生活について、「今までの自分とは違う視点も見えるようになったし、1人では行くことになった所にも足を踏み入れるようになった。大変なこともあるかもしれないが、今はそれも楽しみ」と語る川端康蒼さん(宮園)。どうぞ、お幸せに。